

自動119番 誤通報多発しています



自動で119番に発信する機能とは？

近年発売されたスマートフォンには、激しい衝撃を受けた場合に衝突事故を検出する機能が搭載され、初期設定で自動通報が有効になっているものがあります。

そのため、スキーやスノーボードでの転倒や、何らかの理由でスマートフォンに強い衝撃が加わった場合、誤って119番に発信されることが多発しています。

自動で119番に発信する機能が作動したときは？

警告の画面表示や警告音に気がいたら

機種によっては、激しい衝撃を検出すると、119番に発信する前に警告の画面表示と警告音で利用者に通知するものがあります。救急車・消防車が必要でない場合、利用者自身で119番の発信をキャンセルすることができます。事前にお使いのスマートフォンの操作方法の確認をお願いします。

救急車など必要ないのに119番が発信されたら？折り返し電話があったときは？

誤って119番に発信された場合、電話を切らずに必要なことをお伝えください。電話を切ってしまった場合、消防から折り返し電話がありますので、必ず電話に出て救急車や消防車が必要かどうかをお伝えください。

スマートフォンの設定状況を確認するには？<iPhoneの場合(iPhone14以降)>

警告の表示や自動で119番を発信する機能の設定状況は、次の方法で確認することができます。

- (1) 設定 App を開きます
- (2) 【緊急 SOS】をタップします
- (3) 【激しい衝突事故発生後に電話】のスイッチの状況でオンかオフか確認できます。



<参考> Apple「事故に遭ったときに iPhone や Apple Watch の衝突事故検出で助けを呼ぶ

iPhone が激しい衝撃を検出すると、機種等によっては、警告音と画面上に警告が表示されます。一定時間操作がない場合、119番に発信され、消防機関に音声メッセージによる自動通話が行われ、iPhone の位置情報が当該機関に共有されます。